

商 況

販賣旬報 第 122 號 昭和 5 年 3 月 24 日

製 鐵 所 販 賣 部

**2 月中大陸市況** 一般的需要不振に加へて、氣迷ひ材料依然未解決の爲、商人筋の買氣動かず、荷動き僅少、中旬、棒鋼を初め型物、鋼板(3/16"、1/4")の内地需要稍々多く、最底協定價格5—5—0(棒鋼)6—4—0(鋼板1/4")に拘らず夫れ々々 1 志高を唱へたメーカーすらあつて市場好轉の氣配が感ぜられたが、13 日のブラツセルの會合に於てなされた大陸鋼塊組合の協定價格値上げ發表と共に荷動き減退し、以後大體前月の大勢を其の儘に聊かの改善もなく不況裡に終止した。

新協定値段(問屋向)は 棒鋼 5—7—6(鐵筋混凝土用丸鋼 5—7—6、ホルト及びナット用丸鋼 5110—0) 1 形(N.P.型) 5—1—6 " (B.S.型 5—3—6 山形(50 耗)5—7—6 鋼板(1/4")6—8—0 " (3/16") 6—10—6 (半製品を略す)で、市中相場もよく之に追隨し、下廻つて賣唱へられることがなかつたのは尠當 1 志の口錢に現在殆んど利益を得てゐない商人として、之れ以上の利益喪失には耐へられない爲であらう。實際大陸に於ける價格インディケートの成立は商人の地位に甚しい變化と困難を結果し、インディケートに依つて與へられる 1 志の口錢では到底立ち行かずと不平をこぼし、此が商人筋の買氣を極度に萎らしてゐる主要な原因であつたが、種々凝議交渉の結果下旬漸く左の成案を得て長い間商人對メーカーのもつれてあつた口錢問題も一應解決されることになつた。

	賣上高(1 年間)	製品 1 吨當り 割引額	半製品 1 吨當り 割引額
A 級	24,000 吨以上	2 志	1 志
B 級	12,000 吨以上	1 志	6 片
C 級	6,000 吨以上	6 片	3 片

即ち 1 年間の賣上高に依つて ABC の 3 級に分ち商人の取引量の多少に依つて夫れ々々異なる割引率を適用せんとするものである。右は白耳義の商人對メーカーの規定であつて、外國商人(獨、佛、ルク)との取引は如何、又獨佛、ルク諸國はどふ極つたのか未だ詳にし得ないが、兎も角も將來の需要喚起の好材料たること疑ひなく、かくして種々の難問題も漸次解決されやがて製鋼界も安定した基礎の上に、立つ日も遠くはあるまい。

尙先に報道した國際註文分配事務局は棒鋼、工形のみならず半製品、捲鐵、鋼板にも及んで、上記 5 品を取扱ひ、其の後有效なる活動を續けてゐる。今月初め同事務局は白耳義工場の註文枯渴救済の爲、獨佛ルク製品の一部賣止めを斷行し、獨佛は棒鋼に付いては 2 月 15 日迄、鋼板は同 8 日迄、ルクは全製品に亘つて同 9 日迄其の販賣を停止した。同事務局の政策乃至方針に對する違反行爲に對しては 100 磅乃至 1,000 磅の罰金は科せられるであらう。

ブラツセル取引所の相場次の如し。

	棒 鋼	工形(NP)	" (BS)	大形山形	鋼板(3/16")	ビレット(2")
5 日	5—5—0	4—19—6	5—1—6	5—5—0	6—6—9	4—12—0
1 2 日	5—5—0	4—19—6	5—1—6	5—5—0	6—6—9	4—12—0
1 9 日	5—7—6	5—1—6	5—3—6	5—7—6	6—10—6	4—14—0
2 6 日	5—7—6	5—1—6	5—3—6	5—7—6	6—10—6	4—14—0

昭和 5 年 3 月中旬線材、薄板、鋳力板、輸入速報

區分 \ 品名	線 材				薄 板		鋳 力 板	
	B.W.G No. 5	其 他	計	上中旬計	0.7 耗以下	上中旬計	上中旬計	
神 戸	796	362	1,158	2,033	164	231	557	814
大 阪	152	—	152	408	437	513	95	95
横 濱	304	—	304	1,464	721	1,129	1,460	2,115
計	1,252	362	1,614	3,605	1,322	1,873	2,112	3,024

備考 神戸、大阪、自 3 月 8 日、至 3 月 18 日、横濱、自 3 月 8 日、至 3 月 17 日

**東西市況** — **低迷** 鶴首して待つた3月は來た。然し一般の豫期を裏切つて賣行は依然不振で市場は全く活氣なく不相變の沈靜状態のまゝ推移して居る。特に帳端を眼前に控へて猶更閑散と見られた。見積り物としては相當出るが現在の市況に照らして躊躇氣味で一向決らぬと傳へられて居る。

**東京市況**

**丸鋼**。當所先物 9<sup>m</sup>/m の 73 圓は市場には先行硬軟様々に考へられて暫くは無影響を傳へられて居たが豫期程の荷動きもないとなると、追々と賣腰も弱くなり、導いては丸鋼全體の氣分も悪くザリ貧状態を呼ばれて居る。只 2' 以上は北海道の漁場向其他で需要も相當あり少しは期待されて居る模様である。

**角、平鋼**。角荷動き不振の爲押目未だ改まらず。平も底に底なし、行き盡す處まで行つた様に見えるが今旬復々軟弱となつた。

**型鋼**。中型等山動かず氣配悪くからず。之れに反し大型物及不登山は不相變鈍調裡に推移し、溝も 2×4° 2½×5 は轉一轉して最早受難の時となつたと云はれ其他も小甘し。工も燒け止まりと云ひたい状態ではあるが環境上到底斷言は許されないと云はれて居る。

**鋼板**。6<sup>m</sup>/m の反動安があるが賣行は相當と云はれ、特に 1.6 は氣を持つて居ると傳へられて居るが西筋の安値に脅かされて反撥の氣勢はない模様である。

**大阪市況**

**丸鋼**。9<sup>m</sup>/m 當所品果斷、適時の値下發表は 9<sup>m</sup>/m に對して買安心を興へたかの觀がある。12<sup>m</sup>/m 以上のものは尙氣迷を脱せず市場はジリ貧状態を持續して居る。

**角、平鋼**。動き足の鈍い丈に 9<sup>m</sup>/m 程の感もなく市場軟弱に持合を續けてゐる。

**型鋼**。山形鋼中形は大體 8,20—8,30 の落付を見て居るが伸力は鈍い。大形ものは 2、3 流筋の厭氣投もあり荷凭れ品は賣急がれて居る様である。工形鋼は不動閑散に溝形續落やまず 100×380 が思惑筋に集められたのが目立つ。

**鋼板**。薄板は内地需要極度の不振且つ銀安のため支那方面の輸出面白からず加ふるに英國積出 1、2 月中の數量相當ある模様にて冴えず。1.6 は 10.00 を割込み 4.5, 6<sup>m</sup>/m ものは 8 圓臺割現出近しと見る極端なる弱氣もあるやである。8<sup>m</sup>/m 以上の厚ものは比較的品薄ながら當所品中間寸法もの見積入札品の安値もの出廻りに人氣を悪し。う

**線材**。一般鋼材界不況の折柄突然反撥し先月來より高値を持續してゐた線材も當所品出廻り順調に且つ來 4 月以後外註品の入荷見越の下に氣配稍々悪く軟調に轉じたと云はれて居る。

**鍍力板**。財界不況の爲めか將又政府の緊縮政策が一般家庭の臺所にまで徹底して來たのか兎に角罐詰類の賣行捗しからず従つて目下野菜類の罐詰製造の期節に入り乍らその製造業者の手控へは製罐原料たる鍍力板の賣行に動からざる影響を興へてゐるので問屋側では愚痴をこぼしてゐるやうである。

**海外情報** 「ブラッセル特報」(ブラッセル駐在齋藤囑託發) 3 月 13 日發

棒鋼ベース	大型山形鋼	小型山形鋼	工形鋼	鋼板 ¾"
5-7-6	5-7-6	5-13-6	5-3-6	6-10-6

以上アントワープ F. O. B. 値段、市場平靜なり。

3 月 16 日發 國際組合會議は今後 3 ヶ月間従前通の鈍數生産に決定し尙 10 月迄の繼續契約を締結せり。

**「倫敦商況」**(在倫敦松山商務書記官發)

3 月 7 日著 鐵鋼界買手値下げ期待當用買に止まり生産手控へ鍍力軟調不味、黑板鈍調持續。

3 月 15 日著 鐵鋼界買手安値待に先物取引無く相場不變ざるも相場(?) 軟弱鍍力輸出商談不況相場軟弱、昨年總産額 88 萬噸前年に比し 1 萬 5 千噸増、黑板不味。

**「獨逸商況」**(在柏林長井商務書記官發)

3 月 8 日著 鐵物外國向ケ稍活況、丸鐵注文特に良好、協定相場 F, O, B アンヴェルス、ロツテルダム 5—7—6 (1,015 噸) 國內需要依然薄し。

**外國爲替市中相場**

區分\月日	Mar 11	12	13	14	15	17	18	19	20
日 英	¾—¾	"	"	"	"	"	"	"	"
日 米	49—¾	"	"	"	"	"	"	49—¾	"
日 佛	12.50	"	"	"	"	"	"	12.55	"

備考 日佛のみ正金建値

東京大阪市中相場

東京 3月18日  
大阪 3月15日

丸		鋼		等邊山形鋼				鋼		板	
	東京	大阪		m/m/m/m	東京	大阪		東京	大阪		
6 m/m	8:10	8:20	9x75x75	8:25	8:15	1.6x3'x6m/m	10:50	9:80			
9	7:65	7:60	9x130x130	8:30	8:20	1.6x4x8	"	"			
12	"	7:80	12x130x130	"	8:10	3.2x4x8	9:20	9:00			
19	7:55	"	15x150x150	8:40	"	3.2x5x10	9:70	9:20			
25	"	"	不等邊山形鋼				6.0x4x8	8:80	8:50		
50	7:80	7:90	3/8" x 2" x 3'	8:30	8:20	6.0x5x10	"	"			
65	"	8:00	3/8 x 3 x 4	8:25	8:00	9.0x4x8	8:90	8:70			
角		鋼		3/8 x 3 1/2 x 5	8:30	7:80	9.0x5x10	"	"		
9 m/m	9:00	8:30	3/8 x 4 x 6	"	8:30	薄板鋼 (13枚)					
12	8:60	8:20	1/2 x 4 x 6	"	8:00	米	61.0	61.0			
15	8:50	"	溝形鋼				英	60.5	60.5		
19	8:55	"	1/4" x 2" x 4"	8:80	8:50	八幡	"	59.0			
38	8:60	8:00	0.312 x 2 1/2 x 5	"	8:20	鉾力板					
平		鋼		3/8 x 3 x 6	8:85	"	米	{ 170 <sup>lbs</sup> 21:80 20:70			
1/4" x 1 1/2"	7:55	7:80	3/8 x 3 x 8	8:30	"	{ 100 12:30 11:80	英	{ 170 19:50 18:70			
1/4 x 2	7:50	"	3/8 x 3 1/2 x 10	8:70	8:10	{ 100 11:10 11:50	八幡	{ 170 20:60 20:00			
1/4 x 3	7:80	8:10	3/8 x 3 1/2 x 12	"	8:00	{ 100 11:10 11:30	線材				
3/8 x 4	8:60	8:30	工形鋼				No. 5 井	93:00	90:50		
1/2 x 4	"	8:50	1/4" x 3" x 6"	7:90	7:60						
等邊山形鋼				3/8 x 6 x 12	8:30	7:80					
m/m/m/m			0.28 x 4 x 8	7:60	7:90						
6x50x50	8:30	8:10	0.35 x 5 x 12	8:30	7:90						
6x65x65	8:25	8:30	0.36 x 5 x 10	8:40	9:50						

備考 單位 100 疋につき (置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鉾力板は 1 箱當り。

昭和5年1月中民間棒鋼生産高 單位噸

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼				平鋼				其他			
1 1/8	586	3	70	1 1/8	10	4	7	1 1/16	8	5	30
1 1/4	1,013	3 1/4	37	1 1/4	6	6	30	1	30	6	30
1 3/8	296	3 1/2	14	1 3/8	7	6	30	1 1/16	8		
1 1/2	297	其他	342	1 3/4	2	1	49	1 1/4	49	其他	16
1 5/8	315	計	24,035	2	33	1 1/2	3	1 1/2	3	計	672
1 3/4	154	角鋼		2 1/2	26	1 3/4	3	1 3/4	3		
1 1/2	62	7/16"	3	2 5/8	22	2	215	2 1/4	4		
2	256	9/16"	3	3	32	2 1/2	212	2 3/4	2		
2 1/8	4	1 1/8"	7	計	188	3	6	3	6	總計	24,895
2 1/4	39	1 3/8"	4			3 1/8	26	3 1/8	31		
2 3/8	18	1 1/2"	7			3 1/2	31				
2 1/2	41	1	33								
2 5/8	24										
2 3/4	7										

昭和5年2月當所製品揚地別發送高 單位噸

品名\區分	揚地別													
	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	內海沿岸四國地方	奧羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿鮮關東州地方	支那臺灣	其他計		
鋼材	官廳向	1,211	2,330	143	33	63	381	24	2,280	601	1,113	—	—	8,184
	民間計	29,618	14,751	5,842	3,729	—	—	260	338	120	6,411	—	—	61,119
鋼片及副	34	206	1,533	—	—	316	—	4,329	—	—	41	—	—	6,459
合計	30,896	17,559	20,669	3,777	63	702	284	11,575	721	7,565	—	—	—	93,811



輸入鋼材品種寸法別數量表

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
(造船材料)		電氣鐵板		線材ノ部		其他鋼材ノ部	
1/16"	3	0.014"	463	線材		特殊鋼	
1/8"	10	0.017	89	5mm		丸鋼	245
7/16"	2	0.35mm	26	B.W.G.No.		角鋼	33
9/16"	1	0.50	71	6	700	平鋼板	30
5/8"	4	0.60	20	5	4,645	鋼板	124
7/8"	5	1.00	11	4	102	其他	31
1	45	計	680	3	204	計	463
1 1/8"	10	縞鋼板		鋼管ノ部		其他合計	
1 3/8"	25	3/16"	8	鋼管		鋼材總計	43,457
1 1/2"	4	1/4"	56	1/8"	3	其他合計	463
.25	1	5/16"	6	1/4"	6	鋼材總計	43,457
.26	4	3/8"	4	3/8"	29		
.30	2	計	74	1/2"	744		
.32	2	鋼力板		3/4"	558		
.34	3	100lbs	1,548	1	1,247		
.36	1	170	797	1 1/4"	258		
.38	277	50Sheet	5	1 1/2"	241		
.40	100	60	13	1 3/4"	4		
.42	259	70	13	2	297		
.43	30	80	18	2 1/4"	2		
.44	221	90	5	2 1/2"	143		
.46	258	100	31	2 3/4"	3		
.48	247	Oil size	1,780	3	248		
.49	40	其他	1,403	3 1/4"	4		
.50	160	計	8,593	3 1/2"	21		
.52	169	鋼板合計	17,388	4	121	シ-ト-	2,136
.54	173	軌條及附屬品ノ部		5	32	パ-	
.56	107	軌條		6	110	インゴ	1
.58	134	100lbs	226	6 1/2"	10	イツ	
.60	28	30	143	7	39	ブルーム	306
.625	129	25	40	8	69	ビレット	1,077
.64	17	12	95	9	9	フエロム	214
.66	380	9	72	10	31	其他	
.68	19	36K	97	29	1	ケツク	28
.71	3	其他	742	Pipe fitting	23	スチール	
.72	13	計	1,415	鋼管合計	4,253		
.73	3	繼目板					
.74	15	100lbs用	2				
.77	3	30	5				
.80	51	25	1				
.82	10	9	1				
.92	35	重量不明	77				
計	3,034	計	86				
計	7,378	計	86				
鋼板(0.7mm以下)		繼目板					
6sheets	20	100lbs用	2				
7	25	30	5				
8	45	25	1				
9	21	9	1				
10	366	重量不明	77				
11	126	計	86				
12	58						
13	1,966						
B.W.G.No.							
26	82						
28	57						
29	162						
30	735						
計	3,663	軌附合計	1,501				

販賣旬報 第124號 昭和5年4月11日

製鐵所販賣部

相場は何處まで下るか (其の7) 第2、供給量とメーカーの腹 需要の萎縮斯くの如く、而も近き將來に於て之が改善を望み得ぬこと前號(第120號)の如しとすれば、市價維持の第一方策は當然に生産量の手控へてなければならぬ。さればこそ海外市場不況を傳へて軟風吹き捲くると共に大陸鋼塊組合は直に1割制限を申し合せたのである。然し文明の世に住む進歩的な現代人にとっては「慾は思案の他」である。生産制限と聲を大にして他を牽制し自分は勝手に自己独自の立場より利益を打算して生産を續け人の懐で角力をとる位は朝飯前のこと、敢て日本人の專賣特許でもない様だ。故に大陸鋼塊組合の申合せも其の實行と效果に付いては聲のみを聞いて遽に感心するのはちと早い。第1に組合には超過生産に對する罰則の定はあるが、其さへ出せばどれ丈造らうが勝手放題、従つてよし罰金を拂つても、安く賣つても多産多賣が結局採算を有利だとあらば遠慮もなく造るであらう。第2に老大な工場設備と數萬の職工をかゝへて、首も切れず、機械を遊ばす譯にも行かず、とつおいつ考へた揚げ句のはてが生産制限實行不能に陥るのも亦見易い事實である。第3、かてゝ加へて鋼塊製造の制限では、何の製品が何の位減るのかは全く不明である。所詮は間接的效果に止まり製品個別の需要に應じて生産を調節することなど到底期待し得る所ではない第4に少くとも2、3割は減つてゐるだらう引合に對して1割位の制限では頽勢挽回の實を擧げ得るとは思へない賣刀の切れ味を疑つた市場は一時はメーカーの腰の強さに追従したものの直ちに引き反して、他の惡材料も手傳つて市場は軟弱平靜に戻つた。

ブラッセル取引所相場 (アントワープ f. o. b.)

	棒鋼	工形	鋼板		棒鋼	工形	鋼板
1929年10月2日	5-7-9	5-0-0	6-5-3	11日	5-5-0	4-19-0	6-4-0
9日	5-5-3	4-19-0	6-4-3	18日	5-5-0	4-19-0	6-4-0
16日	5-4-0	4-18-3	6-4-3	1930年1月8日	5-5-0	4-19-6	6-6-6(*)
23日	5-1-6	4-17-3	6-3-6	15日	5-5-0	4-19-6	6-6-6
29日	大陸鋼塊組合 1割生産制限可決			22日	5-5-0	4-19-6	6-6-9
30日	5-2-0	4-17-6	6-3-6	30日	5-5-0	4-19-6	6-6-9
11月6日	5-5-6	4-19-6	6-5-0	2月5日	5-5-0	4-19-9	6-6-9
13日	5-5-6	4-19-3	6-5-0	12日	5-5-0	4-19-6	6-6-9
20日	5-3-3	4-18-0	6-1-0	19日	5-7-6(**)	5-1-6(**)	6-10-6(**)
27日	5-5-0(*)	4-17-6	6-4-0	26日	5-7-6	5-1-6	6-10-6
12月4日	5-5-0	4-19-0(*)	6-3-9				

備考 (\*)は價格協定成立の時を示す (\*\*)は協定價格引上の時を示す

之では製鋼業者の周章るのも無理はない。生産制限の發表と共に今後の相場高を豫想して今まで手控へてゐた買手が一勢に飛びついてくるだらうと思ひの外の此の仕末。はて、よい餌もがなと死にも狂ひて探し廻はつた揚げ句でつち上げた案が價格協定であり、共販組合の形成であつた。其の後幾多の紛議を重ねて初めの案は大分變更を受けた様だがそれでも潰し筋となること丈は免かれて、どうやら價格協定も出來上り、共販組合の先驅たる國際註文分配事務局も成立した。

此等に就いては旬報に其の都度大陸市況として報道してゐる所だから今更繰り返すも無用のこと、たい該事務局が獨、佛、ルク製品の賣止めをやつて白耳義の註文枯渴を救つたり、協定價格が荷動き無きに拘らず、しつかり維持されてゐることを知れば充分。とも角彼等は余程酷い目にあつたと見える。自己を防衛する爲の競争も度を越せば結局我身を滅すものと痛感したに違ひない。だからこそ入り組んだ互の利害を調和して共同戦線を張り得たのだし、至難な生産制限も實行されてゐるのである。實際其の後の経過を見ると彼等は斷然と生産制限を敢行して立派に言責を果してゐる。

大陸鋼塊組合員諸國の鋼塊生産高

1929年	佛	白	獨	ルク	備考
第14半期(1-3) 平均月産額	794,900英噸	337,800英噸	1,351,000英噸	213,800英噸	大陸鋼塊組合割當 總額 29,295,770噸
第24半期(4-6) 平均月産額	808,400	343,800	1,421,800	224,700	100萬噸増加

第 34 半期(7-9)					
及 10 月平均月産額	812,600	359,200	1,368,500	235,000	200 萬噸増加
11 月及 12 月平均月産額	789,000	327,900	1,231,100	223,600	1 割生産制限

(註) 大陸鋼塊組合員諸國中ザール、及中歐國の生産額は記載せず。

お互日本の製鋼業者も一寸位見て置いて胸に手をあて、考へても損はあるまい。こうしたことにこそ日本人お得意の模倣性を發揮したら、猿公根性も萬更捨たものではあるまい。

6、結論、こんな小つばけな論文を足掛け 2 年に跨つて思ひ出した様に書いたのだから、どんな記憶のいゝ方でも前に何が書いてあつたか恐らく御記憶あるまいし、今更結末をつける必要もないのだが、終りのないのも變なもの、場塞げ目障りは承知の上で、結論だけはつけて置こう。

筆者の見る限りでは歐洲鐵價はまがりなりにも此處當分さしたる値下りはないだらうと考へられる。需要は人為を以つて喚起すること至難だが、生産は人為の支配の中にある。而も彼等は苦しいながら立派に生産制限を實行し且つ若し此を以つてしても尙市價を維持出来ぬ時は更に制限を斷行すると頼母しさを我等に示した。

又他方國際分配事務局が設置され、棒鋼、工形大形、山形、鋼板、帶鐵、箍鐵及半製品夫々の價格を協定し、輸出注文を相互に融通し合つて、注文の偏在に依る販賣の危険を豫防した。而も共販組合の議も最近愈々熟して 8 月頃には國際分配事務に代つてより完全な統制を開始し得る可能性を多分に持つてゐる。

要するに今後の鐵價如何は一はメーカー相互の協調がどれだけ具體化され持續せらるゝかに懸つてゐる。そして筆者は之に多くの期待を繋いでゐるのだ。

然し最近の協定値段、棒鋼 5-7-6、工形 (NP) 5-1-6、大形山形 5-7-6、鋼板 (1/16") 6-10-6 が今後例外なく維持されると思はない。現在の市中相場を見ると此等協定價格に追隨はしてゐるが價格引上げと共に需要は更に減退してメーカーの苦しみは一層加はつたらしい。市中相場が追隨してゐるのは問屋が口錢の薄い爲、損をしてまで賣る必要がないと云ふ算盤勘定からも手傳つてゐる。而も他方に存する悪材 (1) 獨逸經濟界の恐慌的現状

(2) 亞米利加の逐年増加し行く生産が躰て海外市場に吐け口を求めるに至るのではないだらうかと言ふ懸念

(3) 日本市場を初めて世界各地の不況は當分立ち直り相にもない。等々の爲に需要が更に 1 割も減少することあれば價格を引き下げて需要を喚起する以外とるべき手段はあるまい。 (完)

### 3 月中の三港輸入鋼材に就て 3 月輸入鋼材の大勢は未だ變らず、決して衰へたとは見られない。

鋼材中鮮かな變化振りを示して居るのは鋼板である。即ち 0.7 耗以上は前月に比しては減少したと云ふても猶悠々と 5,000 噸臺に踏み止まつて阿鼻喚叫のシーヤ界などを冷かな眼に微苦笑を浮べて眺めて居る。前年同期と比較しても約 1 萬噸の増加である。悲境も無理からぬ事である。之に反して惠まれぬは 0.7 耗以下である、極度と思はれるまで減少したに係らず市況益々悪化して居る。消費力の減退と鑛業者の金融難等が交錯して此結果を誘致したと見るより外はない様である。然し原板の手持薄なのは事實の様であるから、製品の少し根強い需要が出ればそのみ頼みにして居る模様である。

線材は 3 月迄は漸減の傾向を辿つて頗る順潮であつた、然し問題の 4 月、5 月に 1 錢を踏み込んだ爲め特に大阪方面が頭重であるのは止むを得まい。條鋼類では山形鋼が前月に比して著しく減少したが前年同期と比較して見れば不等山は 1,500 噸も多くなつてゐる。然し巷間傳ふる處では、こうした輸入も 3 月限りで 4 月からは殆んどないとの事である。どうか其説が是非眞であることを祈つて置く。

昭和 5 年 3 月中三港鋼材輸入數量表 單位 噸

品種\區分	神 戸	大 阪	横 濱	3 月計	前月計	本年累計	前年同期計
丸 鋼	979	1,159	1,314	3,482	3,676	10,487	34,215
角 鋼	151	35	70	256	302	1,149	1,983
平 鋼	587	91	991	1,669	1,390	4,916	4,450
等 山	162	115	350	627	1,688	5,051	9,083
不 等 山	361	61	135	557	1,640	2,999	1,513
溝 形	124	21	811	956	710	2,395	2,466
工 形	218	674	768	1,660	1,772	5,679	7,986
鋼板(0.7m/m超)	2,050	626	2,537	5,213	7,374	19,934	10,076

”(0.7 <sup>m</sup> /m以下)	344	1,014	1,585	2,943	3,677	10,290	28,949
鉄力	1,675	1,227	4,956	7,858	5,643	18,347	14,690
軌條	831	143	1,792	2,766	1,414	5,704	7,810
線材	2,382	459	1,798	4,639	6,102	16,933	34,928
シート・パイル	2,183	1,419	494	4,096	1,500	7,127	6,116
鋼管	348	1,237	928	2,513	4,251	10,011	10,115
其他	867	132	1,648	2,647	2,378	7,473	9,591
計	13,262	8,413	20,207	41,882	43,517	128,500	183,971
硫酸安母尼亞	8,234	508	13	8,755	25,937	54,760	
石炭酸	12	—	—	12	—	12	
ナフサリン	234	76	—	310	20	350	
クレゾール	—	—	—	—	10	528	

備考 横濱港の外輸、車軸は報告未着に付算入せず。

「三エス會」と電気鐵板。恒例の三エス會が去る 8 日本所會議室に開催された昭和 5 年第 1 期に於ける賣出し値段及定期契約の更改並びに従來の時サイズの米突化問題に就て協議された。本所の硅素鋼板も世に出てから正に六年の齡を重ね愈々電動機用變壓機用板の何れも益々其の品質の向上が遺憾なく實現されて最早や「アーモコ」「スタロイ」の何れにも劣らぬと云ふ定評を克ち得るに至つた事は國家の爲にも我々の爲にも實に慶賀に耐えない次第である然し只其の數量が日本の實際需要數量に比して所謂雀の涙で、三エス會の開催される度毎に各會員擧ての要望として増産云々が決議されるのを見ても又厚板黑板類の民間増産の現状より見ても、最早本所の鋼板界に於ける新らしき使命は造船材、鉄力板、硅素板等の方面に向けらるべきを輸入統計を繙く毎に痛感するが然し其の前途には原料精製に於ても技術に於ても又多難なる國際販賣戦に伍する上に於ても、幾多將來に期すべき問題の山積するを見て、更に更に官民一致の緊密不離の精進努力の必要を高唱反覆して止まない次第である。とまれ硅素板の將來は洋々として海のものとも山のものとも計り知らぬ處に又云ひ得られぬ前途に對する欣躍の幸福感を覺ゆる。

決議事項は次の通りで、價格に於て若干外註値段の弱含みを汲んで従來よりも値下げされ一般賣値段は電動機用板 1 噸に付箱入りもの金 249 圓替、變壓用板は金 317 圓替と云ふ事に決定された。定期契約も従前通りの條件で一ヶ年間更改され、寸法問題も 6 ヶ月の猶豫期限を附して工場側の承認を得て正式にと云ふ、留保付きにて満場一致で承認された。(右寸法は正式決定の上旬報掲載の豫定)

粗製ナフサリンと高爐セメント 1、粗製ナフサリン値下、季節的不需要と所謂經濟界全般的の萎縮から精製ナフサリンは市況内地品輸入品ともに昨秋以來極端な値下續行で此處にも關係者泣かせの場面を如實に示して居る。

格安ものの一例として關西某社で 2 月末 100 封度換算建値粉狀 6 圓 20 錢、球狀 6 圓 91 錢の輸入品買附を傳へ、目先需要期を控えた關係上安値輸入もの漸増を豫想せられて内地生産者は極度に脅え切り、その對策に汲々として當所に對しても原料たる粗製ナフサリンの極端なる値下を縷々要望して來た。

例年ならば相當の人氣回復を見るべき市價は昨今も尙續低調を報ぜられて先行不安のままに推移しつつある。

以上の状況を参照し當所粗製ナフサリン、今期自 4 月至 9 月渡價格は純當り 5 圓値下の事として過日次記價格を發表した。

當所工場構内正味 1 噸に付金 31 圓替、因に 4 年度中當所粗製品生産高並に精製品全國輸入高は次の如し。

	4 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	5 年 1 月	2 月	3 月	計
當所粗製品生産高純	323	276	153	111	98	168	263	340	384	374	323	487	3,300
精製品輸入高純	139	161	56	444	105	54	22	121	127	30	* 20	* 310	

備考 2 月及 3 月輸入高は横濱、神戸、大阪の三港分なり。

2、高爐セメント定期契約期間改定 セメント界は底知らずに不安を傳へられ需要季に入つても一向に引返しを見せず共販もプールも殆んど失敗に終つて斯界の不勢振りは益々濃厚で 1 部では依然半恐慌狀態の繼續を懸念せられて居る。當所高爐セメントも押詰つた一般セメント界の大勢に引摺られて過去半年は餘儀なく漸落を辿つて來たが、更に大口定期契約先は難關乗り切りの一助として、市價急變による先物長期契約の危険率負擔を尠なからしむるために前月の定期打合會で先物契約期間の更改を提案するに至つた。

當所は目下の市況からその希望を容れて今期新契約より當分の間既報の 4 ケ月至乃 6 ケ月先物定期契約を翌月乃



至 3 ヶ月先物定期契約に改正する事にした。

4 月上旬線材、薄板、鉄力板、輸入速報

区分\品名	線 材			薄 板		鉄 力 板
	B.W.G. No. 5	其 他	計	上中旬計	0.7 耗以下	上中旬計
神 戸	723	405	1,128		406	620
大 阪	102	—	102		370	144
横 濱	511	—	511		671	1,220
計	1,336	405	1,741		1,447	1,984

備 考 神戸、大阪、自 3 月 27 日 至 4 月 8 日、横濱、自 3 月 28 日、至 4 月 7 日

**東西市況**——稍々落ち付き 月が變ると共に氣持の上にも變化があり、品物も動かないと云ふても今迄の様な事はなく、地方筋も勿論好いと云へぬが相當にこなして來る模様で今の處は市場は悪いなりに稍々落ち付き状態である猶先行手當薄も期待されて聊か底堅い處も見えて追々と切れ時ものも現はれようと云ふ有様になつただけ變つて來たと見られて居る。

**東 京 市 況**

**丸鋼。**4 月の聲を聞くと共に 6m/m. 8m/m. が品薄を楯に反撥氣勢となり共に 8 圓 80 錢迄引き返したのが此際とて特に目立つて居る。一時 7 圓 3,40 錢迄落ち込んだ 9m/m も先行需給觀も織り込まれて稍々戻し氣味となつたが問題の分野が氣迷の種となつて大した底力もある様には思はれて居ない。然し 5 月末の端境期に對しては相當の期待を待つて居る模様である。ベース物未だ頭重の域を脱するを得ず。

**角、平鋼。**角は荷動きも鈍いが相場も不動、只 9m/m や 38 m/m が稍氣を持つて來たのが變つた處である。平は 3' 以上は確り 2½ 以下は不相變ハツキリせぬと云はれて居る。

**型鋼。**中型等山は其後民間メーカーの自重により下支へとなり先行に對し相當期待されて居る。大形等山、不等山は不冴、溝は 2×4.2½×5 の漸落が目立つ外殆んど動かず、其他工形鋼と共に低調不變。

**鋼板。**1.6×4×8 は期待された程の事はないが 1.6×5×10 は相當根強い反撥力あつて 12 圓弱みと昂騰した。其他大阪高の報に氣配は良好なるも未だ相場の上に響くまでには至らない模様である。

**大 阪 市 況**

**丸鋼。**6.8mm, 50.55—75mm は品薄を告げて幾分反撥し 12—44mm のものは未だ氣迷を續けて居る。中丸ものは引續き良化すべきものと見られてゐるが實需が件ふか否やを危ぶまれてゐる。

**角、平鋼。**不相變鈍調に冴えない、伸鐵界は愈々自然淘汰の行はれる時期に接近したかの觀があり斯界の不況一段深刻だと云はれてゐる。

**型鋼。**山形鋼中型もの賣行尙不振にて軟弱を續け大型もの又偏重的在庫となり弗々品薄ものは現出近きにありと見られながらも伸力無く、時々厭氣の投物に人氣を損じて居る。溝形鋼は幾分か良くなつたとも云はれて居る。即ち過般來の安値より 1、20 錢方戻し市場在庫は漸減じて居る。工形鋼當所品以外の大型物は幾分拂底し其他は尙軟弱。

**鋼板。**薄板 1.6, 2.3, 3.2, 漸くまばらの在庫品出拂ひとなり安値突込賣の買埋めに急反發となり一氣に 5、6 圓方奔騰した。厚板もシャ業者の協定成立に確りを續け市場は品薄状態だと云はれて居る。

**線材。**現物は品薄なれ共先行入荷豫想の下に買控へ居るため目下の相場は

舶來品 1 英噸 90 圓 50 錢 當所品 1 噸 88 圓 50 錢 神戸製鋼 1 噸 88 圓

て、概してジリ貧状態であるが唯當所品のみは先向來より右の値段で保合つてゐる。

**鉄力板。**舶來品の入荷は愈々少く當所品又多きにあられど極端なる賣行不振は市場在庫を漸増せしめつゝあり、従つて相場は一般下押し氣味で既報の Scrap tin plate のストックも目下豊富にて取引は矢張り不振を極め、目先これが動機となつて値段も正品級と等しき歩調で下向きそな商勢である。

併し乍らかゝる無氣力な相場の中で独自の力強い足どりを見せて居るのは厚鉄力板 (224 L. B. S.) で、これは極端なる品がすれにて最近この 1 ヶ月の間に約 3 圓方の暴騰を示し當分この強調を持續するであらうと見る筋がある。

**海外情報** ブラッセル特報 (4 日ブラッセル駐在員齊藤囑託發電) 相場不變、市場平穩。

外國爲替市中相場

區分\月日	Mar 1	2	4	5	7	8	9	10
日 英	2/6-1/32	"	"	"	"	"	"	"
日 米	49-3/8	"	"	"	"	"	"	"
日 佛	12-55	"	"	"	"	"	"	"
備考	日佛のみ正金建値。							

東京大阪市中相場

{東京 4月8日  
{大阪 4月5日

丸 鋼		等邊山形鋼				工 形 鋼			
	東京	大阪		東京	大阪		東京	大阪	
6mm	8.80	8.40	9×75×75mm	8.25	8.10	0.36''×5''×10''	8.20	9.50	
9	7.50	7.70	9×130×130	8.30	"	鋼 板			
12	7.60	7.80	12×130×130	"	"	1.6×3''×6mm	10.60	11.00	
19	7.45	"	15×150×150	"	8.30	1.6×4×8	"	10.60	
25	"	"				3.2×4×8	9.30	9.90	
50	7.80	8.30				3.2×5×10	9.70	"	
65	"	8.40				6.0×4×8	8.80	8.70	
						6.0×5×10	"	"	
						9.0×4×8	9.00	8.90	
						9.0×5×10	"	"	
角 鋼		溝 形 鋼				薄 鋼 板 (13 枚)			
	東京	大阪		東京	大阪		東京	大阪	
9mm	8.90	8.20	1/4''×2''×4''	8.40	8.40	米	60.0	59.0	
12	8.50	7.70	0.312×2 1/2×5	8.50	"	英	59.0	57.5	
15	8.40	"	3/8×3×6	8.60	8.20	八 幡	"	"	
19	"	7.80	3/8×3×8	8.65	8.80	鉻 力 板			
38	9.00	8.30	3/8×3 1/2×10	8.50	9.00	米 {170 <sup>lbs</sup>	21.80	20.50	
			3/8×3 1/2×12	"	8.40	{100	12.20	11.65	
						{170	19.50	18.80	
						{100	11.10	11.00	
						八 幡 {170	20.50	20.10	
						{100	11.10	11.00	
						線 材			
						No. 5#	92.00	88.50	

備考 單位 100 吨につき (置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 吨當り。鉻力板は 1 箱當り。

昭和 5 年 3 月 分 契 約 高

品 種	官廳小計		民間小計		3 月中合計		本年度累計			
	吨 數	金 額	吨 數	金 額	吨 數	金 額	吨 當	吨 數	金 額	吨 當
大 條	131	16,381	1,175	101,327	1,306	117,708	90.15	91,275	8,528,916	93.41
中 條	443	63,614	1,029	87,295	1,472	150,939	102.54	59,485	5,644,576	94.89
小 條	236	29,264	6,903	506,940	7,139	536,204	75.11	85,967	7,879,188	91.65
鋼 板	613	94,901	12,366	1,075,785	12,979	1,170,686	90.20	125,298	13,346,734	106.52
重軌條及附屬品	332	37,368	3,841	374,886	4,173	412,254	98.79	222,415	22,257,723	100.07
輕軌條及附屬品	4 2	37,334	5,335	406,039	5,737	443,373	77.28	20,129	1,813,000	90.07
線 材	—	—	6,835	563,638	6,835	583,638	85.39	63,386	5,676,400	89.55
黑 板、硅素鋼板、鉻力板	—	—	3,201	629,319	3,201	629,319	196.60	49,874	9,810,317	196.70
車 軸、外輪、鍛 成 品	25	5,054	10	3,045	35	8,099	231.40	5,836	1,497,802	256.56
工 具 鋼、特 殊 鋼	1	1,358	50	13,350	51	14,708	288.39	2,593	293,339	113.13
其 他 鋼 材	9	2,224	—	138	9	2,362	262.44	3,569	309,698	86.77
鋼 材 小 計	2,192	287,528	40,745	3,781,762	42,937	4,069,290	94.77	729,829	77,057,793	105.58

鋼片、鋼塊、 シートバー	—	—	8,130	543,520	8,130	543,520	66.85	89.175	6,141.828	68.87
以上計	2,192	287,528	48,875	4,325,282	51,067	4,612,810	90.30	819.004	83,199.821	101.59
短尺及層鋼	—	—	3,402	231,803	3,402	231,803	68.14	60.595	4,131.326	68.18
以上計	2,192	287,528	52,227	4,557,085	54,469	4,844,613	88.94	879.599	87,331.147	99.29
副製品		17,787		624,245		642,0.2			5,731.259	
備考										

昭和5年6月渡定期先物品種寸法別契約數量表

單位 噸

丸鋼			角鋼			平鋼			等邊山形鋼		
寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
6mm	10	302	12mm	5	52	35/8"	80	302	40mm	—	268
8	20	138	16	5	84	19mm	107	197	45	—	127
9	5,990	7,649	19	5	65	22	78	145	50	—	482
12	10	687	22	10	15	25	152	303	65	—	245
50	5	167	25	5	87	32	144	247	75	—	235
55	10	153	28	5	10	38	94	161	90	—	25
60	20	56	32	—	112	44	51	92	100	10	81
65	25	123	38	10	123	50	212	314	130	65	746
70	15	75	44	10	84	55	5	5	150	185	1,066
75	15	103	50	5	56	65	151	274	200	—	100
80	10	55	65	14	65	75	151	373			
90	20	71	75	15	69	90	78	225			
95	15	43	90	30	83	100	48	164			
100	10	63									

  

定期先物合計	—	8,620	8,620	24,142
條鋼	—	1,056	1,056	3,972
鋼板	—	9,676	9,676	28,114
鋼材計	11,003	17,111	28,114	

合計 6.175 9.685 合計 119 905 合計 1.351 2.802 合計 260 3.374

不等邊山形鋼			溝形鋼			工形鋼			鋼板		
寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
2½"×2"	15	38	5"×2½"	15	667	6"×3"	—	20	1.6mm	674	1,642
6×3½	—	105	6×2½	10	429	6×5	—	40	2.3	177	505
6×4	"	276	6×3	10	782	14×6	—	85	3.2	205	1,295
mm mm			7×3	15	276	16×6	—	80	4.5	—	292
75×50	—	100	7×3½	—	328	18×7	37	167	6	—	140
75×65	—	135	8×2½	—	65	20×7½	115	185	8	—	46
90×75	15	26	8×3	20	175	24×7½	36	66	9	—	42
100×75	—	37	8×3½	—	55	mm mm			12	—	10
125×75	10	105	mm mm			100×75	—	15			
125×90	—	85	75×40	10	90	125×75	—	80			
150×90	30	30	100×50	15	370	150×75	5	15			
150×100	85	128	230×80	—	301	200×100	15	50			
			230×90	—	325	200×150	40	85			
			250×90	7	273	230×100	20	105			
			300×90	—	274	250×125	45	415			
			380×100	50	100	300×150	85	383			
						350×150	10	10			

合計 155 1,065 合計 152 4,510 合計 403 1,801 合計 1,056 3,972

販賣旬報 第125號 昭和5年4月21日

製鐵所販賣部

3月中大陸市況 1. 上旬英國再壓延業者の半製品に對する買氣稍々動きかけたをきつかけに、需要弗々擡頭の兆が見えたが、ものにならず、荷動き依然僅少、工形、鋼板(1/4", 3/16")を除いては下旬を迎へて更に軟弱にさへ傾き、春の需要期に拘らず此處當分好轉を期待することは出来そうにない。

2. 最近に於ける大陸鋼材界の不況に就ては其の原因に關し種々論議せられ、海外市場に於ける經濟界不況に依る買付減少は其の主要なものとして擧げられてゐるが、實際支那、英領印度、亞爾然丁、米國等重要市場の買付は著しく制限せられ、他方、獨、白内地需要の極度の萎縮も加はつて、輸出註文の獲得戦は將に激烈を極めてゐる。

3. 獨逸は米國よりの借入資金思ふに任せず、金融はとかく滯滞して產業界は極度の經營難に遭遇し、恐慌をさへ傳へられてゐること、鐵鋼需要も著しく減少し、其の勢は月と共に益々其の度を強めつゝあるやに見受られる。最近發表された昨年の獨逸國內消費量を一昨年の其に比較すれば其の一半を知ることが出来よう。

獨逸主要鋼材消費量

	1929年	1928年		1929年	1928年
rail, sleepers, fish plate	1,148,587	905,156	plates & sheets	1,912,441	1,699,953
joists, sectional	1,049,052	1,260,543	tin plates	139,088	125,888
steel bars	2,388,012	2,805,717	tubes	555,813	532,909
hoops	402,478	434,062	total	8,649,434	8,865,131
wire rods	1,053,963	1,101,803			

而も其の減少の大部分は主として後半年の需要減に起因するもので、本年に入り不況は愈々深刻を加へ目下獨逸は全力を輸出市場に集中してゐる。即ち本年 1, 2 月の輸出を昨年同期の其と比較すれば

獨逸鐵鋼輸出額

	1929年	1930年
1 月	419,589 噸	521,398 噸
2 月	341,312 "	434,093 "

尤も昨年初は異常な寒氣に阻まれて輸出が豫想外に少かつたことも留意して置かれねばならぬ。

4. 更に需要不振の他の原因として擧げ得べきは、一方には價格シンディケートの成立を見又本月中旬にはとも角も大陸鐵鋼塊組合が 9 月 30 日迄 3 ヶ月間暫定的に存続せらるべきことに決定されたが、其處には尙幾多未解決に残された不安材料が積載しとかく商人の買氣を澁らしてゐることである。

曰く、エキストラ問題、曰く共販組合成立の成否懸念、曰く問屋對マイカーの口錢問題、曰く白耳義問屋に對する割引制度の撤廢等々此等の諸問題が解決されるまでは荷動き増加は望み得ぬ處であらう。

5. 然し此の情勢の下にありながら、相場は協定價格を確かり保つて大體マイカーの讓歩は見られない。上旬獨逸が亞爾然丁よりの棒鋼 4,000 噸の大口註文に對し、5-7-6 で契約した等マイカーの腰強く協定が可成り眞面目に墨守されてゐる證左であらう。

然し此を以つて現在の市況を判斷することは早計である。價格シンディケート成立後市況を卜するバロメーターは最早棒鋼ではなく、何等の統制組織なき棒鐵である。

棒鐵は過去 1 年間の統計に付いて見るに大體棒鋼の 2 志高が常態であるが、現在は次の如き相場を示してゐる。

年月日	棒鋼 No.3 市中値段	年月日	棒鐵 No.3 市中値段	年月日	棒鐵 No.3 市中値段
1929年		1929年		1930年	
11 月 6 日	5-7-6	12 月 18 日	5-2-6	1 月 22 日	5-3-0
" 13 日	5-7-6	1930年		2 月 27 日	5-2-0
12 月 4 日	5-5-6	1 月 8 日	5-3-0	3 月 12 日	5-0-0
" 11 日	5-5-6	" 15 日	5-3-0	" 19 日	5-0-0

現在の市況が如何に悪いかは想像にかたくあるまい。

ブラッセル取引所の相場は次の通り。其の後も協定價格に保合つて語るべき何物もない。

	棒鋼	工形 (NP)	" (BS)	大型山形	鋼板(3/16")	ピレット(2")
5 日	5-7-6	5-1-3	5-3-6	5-7-6	6-10-6	4-14-0
12 日	"	"	"	"	"	"
19 日	"	"	"	"	"	"
26 日	"	"	"	"	"	"

7, 8 月積先物協議會 4 月先物協議會は名古屋で開かれた。名にし負ふ蒲郎のほとり、残んの花、萌え出てんず若葉の色彩、洋々たる海、駘蕩たる風、和煦たる日の輝き、春は今どこかに酣なるを、集ふ三都の人々約 60 名經濟不況の先端を行く鐵鋼關係者のことゝて、人の心には索漠たる北海の曠野とも映つたかどうか。

現今の外註値段、三都希望値段、懇話會希望値段及今月決定値段は次の通りである。

品 種	入電、沖渡	換 算	三都希望	懇話會希望	決 定	備 考
棒 鋼 ベース	6-12-3	85.69	80	80	83	据 置
丸 鋼 9mm	—	—	73	—	73	〃
平鋼 65mm 以下	—	—	73	—	74	1 圓下げ
中小形 山形鋼	6-12-6	85.57	80	84	84	据 置
大形 山形鋼	6-12-6	85.57	83	—	84	〃
工 形 鋼	6-9-6	84.12	82	—	83	〃
溝形 (in サイズ)	7-0-0	89.21	87	—	88	〃
〃 (mm サイズ)	6-9-0	83.88	82	—	84	〃
鋼 板 ベース	7-13-0	95.52	92	94	92	2 圓下げ
〃 3.2mm	7-16-6	97.22	95	—	97	据 置
〃 2.3mm	8-1-6	104.64	102	—	103	1 圓下げ
〃 1.6mm	8-3-0	105.37	103	—	104	〃
線 材	7-7-0	87.11	84	87	85	2 圓下げ
黒 薄 鋼 板	13-5-0	159.12	—	—	—	—
鋳 力 板 170 lb	1-17-6	19.78	19.40	—	19.70	10 錢下げ
〃 100 lb	1-0-6	10.85	10.50	—	10.70	〃

爲替 2 志 0 片 %

内地市況は依然として最悪の不振を脱しない。儲けやう等の不所存者の存在を許さぬ市場である。従つて前月同様に之を加味した値段が採用されて、大體据置となつたが、大勢に於て弱含みの傾向を有する海外入電の中、其傾向の最も著しい線材、1.6mm, 2.3mm, の鋼板及び鋳力板は多少の値下となつた。

4.5mm 鋼板丈は買手側の立場々々に従ひ利害錯綜し、或は据置を希望し、或は 5, 6 圓下を熱望し、混沌として歸する所を知らなかつたが、結局各場合を考慮した 2 圓下げとなつて決定した。又黒薄鋼板は 3 月先物を 2 月先物と改正した結果、今月の賣出は中止となり値段は發表されない。丸鋼 9mm と平鋼中 65mm 以下は前月同様に決定して市況の大勢に順應することゝした。

**東西市況——不變** 來勘を眼前に控へたこともあらうが總體に荷動は不活潑で前旬以來殆んど變化なく低迷裡に呻吟して居る。何にせよ今迄の情勢が、夜さへ明ければ新安値に落ち込むので、目を瞑つて賣つてきへ置けば利が乗ると云ふ有様故何時まで経つてもアク抜けせず實需家の頭には理屈吹き先安觀念がコビリ付き益々買氣を鈍らし結局此處まで追いつめられたのである。随つて一寸やそつとの事で立直りを望む方が無理で此處暫くは特に慎重の態度が必要であらうと云はれて居る。

### 東 京 市 況

**丸鋼。**反撥氣勢となつた 6mm, 8mm も僅少の入荷により戻り足もピッタリとなり再び左顧右盼の形となつた。9mm も分野問題を眺めて 7 圓 50 錢を中心として彷徨して居る。ベース物不相變不味。中丸以上北海道向けが相當出た模様で睨りと云はれて居る。

**角、平鋼。**角の 38mm 其後品薄の爲デリ高となり其他落ち着き、平は 3/8", 1/2"×3" 物が 1 時 8 圓 50 錢揚みまで引き返したが入荷を見て再び軟調に轉じたるも今の處は未だ 8 圓 2, 30 錢を稱へられて居る。2" 以下の不味に變りなきも、九州、鋼管物に對し 7 圓 20 錢迄の買氣が出ただけ氣持の上に變化を認めることが出来よう。

**型鋼。**中型等山は僅少なる強弱材料を種に 8 圓 10 錢揚みを底として 1, 20 錢の高下を演じ、大型等山 19×150 は大阪地下鐵の爲拾はれて先行を期待されて居る。不等山は荷動き不活潑で等山よりも望み薄を傳へられ、溝形は 50×100 が最低 8 圓ドタまで出来たと云はれるのが長者が一朝にして乞食になつた様に思はれて哀れである、工形 6×12 など最近西路へ引かれて氣を持つて居る 外此の間迄の溝形と位置を轉換して大口の消費につれて相當望を繋がれて居る模様である。型物一般に輸入の途切れと、當所定期が無くなる爲ホツポツと切れ時物の現はるゝ様になり特に工形と大型等山は部分高を豫期せられて居る。

鋼板。東京は大阪に比し底入れが後れただけ立ち直りも鈍いがそれでも少々引き返したい氣持となつた模様で、3・2以下は有望を傳へられて居る。1・6×5×10は漸騰して當所品 12圓 50.錢を稱へられて居る。

大阪市況

丸鋼。ベースもの 7・60—7・70にて頗る閑散ながら在庫著しく減少し前途下げ餘地乏しき觀ありて目下手堅く持合つてゐる。中丸も亦問屋は大體手持のない折柄とてやうやく人氣は安定の氣味を見せ、相場も依然伸力はないが下げ止まつて來たと云はれてゐる。

角、平鋼。各手持筋は安値引受には最早應じないやうであるが唯平鋼は滞貸してジリ貧状態を持續してゐるやうである。

型鋼。山形鋼分野の確定を期待されて居るが全體的に商内もほんの小口當用を潤はずのみで不活潑の商狀で氣配も無味保合を呈してゐる。大型のものも頭重く沈滞の極に達したと見られてゐる。工形鋼、溝型鋼共に不振、唯だ工型 16"以上の大型のものは在庫薄の爲め少々落付を見せてゐる。

鋼板。一、二 中板工場製品引續き戻り、6mm以上の厚もの市場在庫薄に相場は漸次上向きつゝあり。

線材。本月上、中旬までには外註品入荷も相當あるとの豫想の下に買入側は目先一般の安値を氣構へて買氣をもらすもの少かつたやうであるが今迄の處右の豫想も杞憂に過ぎなく且つ在庫薄と相待ちて相場は前旬の通りにて経過しつゝあつたが最近大陸シンジケート協定値段引下げ發表せしめたか目下相場は2圓方の暴落振りを示してゐる。

鐵力板。無氣力なる市況を示してゐた鐵力界も外に本國小戻りを、内に一般鋼材界の底入れらしき商況を眺め荷動きは依然捗々しからざるものゝ、やうやく人氣は安定の氣味を見せ相場もまだ伸力はないが下げ止まつて來たやうで殊に鐵力板標準品たる英 170 lbsもの最近品掠れにて確りしてゐると云はれてゐる。

海外情報 ブラツセル特報 (ブラツセル駐在齋藤囑託來電)

4月11日國際共販組合委員會は4月7日ブラツセル委員會を開催、協定細目の實行に同意、意見の一致を見た。相變らず。4月18日相場變らず但し弱含保合にて目先値下りの懸念あり。

倫敦商況 (在倫敦松山商務參事官發) 4月11日鐵鋼界銑鐵値下の影響豫期に反し商談薄、鋼鐵需要小口に限られ輸出亦不振、鐵力大取引なきも稍活氣あり標準物 18 志 4 片半、黑板鈍調。

獨逸商況 (在伯林長井商務書記官發) 4月9日鐵物内外取引不振爲に國內鐵工業更に操短目下勞銀引下げ運動行はる。

4月中旬線材、薄板、鐵力板、輸入速報

區分\品名	線材				薄板		鐵力板	
	B.W.G No. 5	其他	計	上中旬計	0.7mm以下	上中旬計	mm	上中旬計
神戸	1,829	751	2,580	3,708	239	645	187	807
大阪	160	0	160	260	552	922	56	200
横濱	254	102	356	867	790	1,461	656	1,876
計	2,243	853	3,096	4,837	1,581	3,028	899	2,883

備考 神戸、大阪、自9日至18日、横濱、自8日至4月17日

外國爲替市中相場

區分\月日	Apr. 11	12	14	15	16	17	18	19
日 英	3/4—1/32	"	"	"	"	"	"	"
日 米	49—3/8	"	"	"	"	"	"	"
日 佛	12,55	"	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

(東京 4月18日  
大阪 4月15日)

丸	鋼		丸	鋼		丸	鋼	
	東京	大阪		東京	大阪		東京	大阪
6mm	8.85	8.45	19mm	7.40	7.80	65mm	"	8.50
9	7.50	7.70	25	"	"	角	"	"
12	7.60	7.95	50	7.80	8.35	9	8.80	7.90

角 鋼		大阪		東京		大阪		東京		大阪		東京		
12mm	8:50	7:80	$\frac{3}{8} \times 3 \times 4$	8:30	7:80	1.6x4x8mm	11:60	11:00						
15	8:40	"	$\frac{3}{8} \times 3\frac{1}{2} \times 5$	8:20	8:20	3.2x4x8	9:40	10:00						
19	"	8:00	$\frac{3}{8} \times 4 \times 6$	8:25	"	3.2x5x10	9:70	"						
38	9:30	8:50	$\frac{1}{2} \times 4 \times 6$	"	"	6.0x4x8	8:80	9:10						
平 鋼				溝 形 鋼										
$\frac{1}{4}'' \times 1\frac{1}{2}''$	7:50	7:70	$\frac{1}{4}'' \times 2'' \times 4''$	8:80	8:50	9.0x4x8	9:00	8:90						
$\frac{1}{4} \times 2$	"	"	$0.312 \times 2\frac{1}{2} \times 5$	8:40	8:40	9.0x4x10	"	"						
$\frac{1}{4} \times 3$	7:80	8:00	$\frac{3}{8} \times 3 \times 6$	8:50	8:30									
$\frac{3}{8} \times 4$	8:60	"	$\frac{3}{8} \times 3 \times 8$	"	8:00									
$\frac{1}{2} \times 4$	"	8:50	$\frac{3}{8} \times 3\frac{1}{2} \times 10$	"	"									
等 邊 山 形 鋼				工 形 鋼						薄 鋼 板 (13 枚)				
mm mm mm			$\frac{3}{8} \times 3\frac{1}{2} \times 12$	"	8:10						米	60.0	58.0	
6x50x5	8:25	8:00				$\frac{1}{4}'' \times 3'' \times 6''$	7:80	7:80			英	59.0	57.5	
6x65x65	"	8:20				$\frac{3}{8} \times 6 \times 12$	8:20	8:20			八 幡	"	"	
9x75x75	8:25	8:10				0.28x4x8	7:80	7:80			銑 力 板			
9x130x130	8:30	8:80				0.35x5x12	8:20	8:10			米	170lbs	21.80	20.50
12x130x130	"	8:50				0.36x5x10	8:20	9:50			100	12.20	11.50	
15x150x150	"	8:30									英	170	19.50	19.20
											100	11.10	11.00	
											八 幡	170	20.50	20.00
											100	11.10	11.00	
											線 材			
											No. 5#	91.00	86.50	

備考 單位 100kg につき (置場渡值段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。銑力板は 1 箱當り。

昭和 5 年 2 月中民間棒鋼生産高

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸 鋼		$1\frac{1}{4}$	1,048	$3\frac{1}{4}$	12	角 鋼		平 鋼		其 他		13	
$\frac{1}{4}''$	300	$1\frac{3}{8}$	38	$3\frac{1}{2}$	12	$\frac{5}{8}''$	108	$\frac{7}{8}''$	17				
$\frac{3}{8}$	945	$1\frac{1}{2}$	373	4	29	$\frac{3}{4}$	10	1	3				
$\frac{7}{16}$	4	$1\frac{3}{4}$	258	其 他		$1\frac{1}{8}$	10	$1\frac{1}{4}$	22				
$\frac{1}{2}$	2,674	$1\frac{7}{8}$	40	淺野小倉		$1\frac{1}{4}$	23	$1\frac{1}{2}$	26				
$\frac{9}{16}$	137	2	77	製 鋼		$1\frac{1}{2}$	22	$1\frac{3}{4}$	139				
$\frac{5}{8}$	3,210	$2\frac{1}{8}$	2	$\frac{1}{4}'' - \frac{1}{2}''$		$1\frac{3}{4}$	12	2	402				
$1\frac{1}{2}$	79	$2\frac{1}{4}$	39	1,417		2	22	$2\frac{1}{4}$	20				
$\frac{3}{4}$	4,679	$2\frac{3}{8}$	2	計		$3\frac{1}{2}$	15	$2\frac{1}{2}$	480				
$\frac{13}{16}$	56	$2\frac{1}{2}$	56	25,291		$3\frac{3}{4}$	6	3	259				
$\frac{7}{8}$	4,490	$2\frac{5}{8}$	9	計		4	23	$3\frac{1}{2}$	98				
1	3,869	$2\frac{3}{4}$	35	計				4	74				
$1\frac{1}{8}$	859	$2\frac{7}{8}$	15	計				$6\frac{1}{4}$	33				
				計						總 計			27,128

昭和 5 年 3 月當所製品揚地別發送高

品 名	揚 地 別													合 計	
	阪神 地方	京濱 地方	當所 渡	伊勢灣 東海道 地方	山陰 北陸 地方	内海沿 岸四國 地方	奥羽 地方	關門 九州 地方	北海道 樺太 地方	滿洲 關東州 地方	鮮 支 那	支 臺 灣	其 他		
鋼 材	官廳向	782	1,641	97	—	211	286	20	1,386	299	621	—	2,159	—	7,502
	民間向	30,743	14,518	7,624	2,933	—	1	84	360	1,020	15,576	—	—	—	72,889
	計	31,525	16,189	7,721	2,933	211	287	104	1,746	1,319	16,197	—	2,159	—	80,391
鋼 片 及 鋼 塊		197	992	864	26	—	452	—	5,110	—	5	—	—	—	7,646
副 製 品		68	183	15,293	—	—	—	—	4,793	—	—	—	—	—	20,337
合 計		31,790	17,364	23,878	2,959	211	739	104	11,649	1,319	16,202	—	2,159	—	108,374

昭和5年3月中神戸、大阪、横濱、三港

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼ノ部</b>		9	142	平	鋼	<b>型鋼ノ部</b>		11×3½	6	15×4	21
丸	鋼	9.5	1	3/8"	28	等邊山形鋼	12×3½	105	mm mm		
3/16"	73	10	1	1/2"	97	1"	60	230×90	109	100×50	124
1/4"	16	11	1	3/8"	127	1¼"	36	300×90	59	250×100	63
5/16"	15	12	20	3/4"	167	1½"	191	計	461	其他	31
3/8"	109	12.5	52	7/8"	105	1¾"	40			計	938
7/16"	56	13	1	1"	185	2"	1	<b>工形鋼</b>			(造船材料)
1/2"	158	15	49	1 1/8"	3	3½"	7	5"×3"	6	" "	
1 1/2"	6	31.8	2	1 1/8"	4	4"	80	5×4½"	3	3½×3½"	8
1 3/8"	351	60	10	1 1/4"	61	4½"	21	6×4½"	2	10×3½"	8
2 1/8"	5	70	7	1 1/2"	84	5"	5	6×5"	15	計	16
2 3/8"	5	80	10	1 5/8"	1	200mm	19	7×4"	5	計	954
2 5/8"	370	90	21	1 7/8"	1	計	460	8×4"	19	<b>丁形鋼</b>	
3/4"	10	計	2,994	1 5/8"	6	(造船材料)		8×5"	61	" "	
15/16"	3	(造船材料)		1 5/8"	1	3"	27	8×6"	61	" "	
1 1/8"	56	15/32"	4	2"	132	3½"	85	10×5"	183	1½×1½"	5
1 1/4"	14	1/2"	11	2 3/32"	2	4"	6	10×6"	121	2×2"	15
I	210	23/32"	43	2 1/4"	32	5"	40	12×5"	217	2½×2½"	10
1 1/16"	15	2 1/2"	50	2 1/2"	159	6"	8	12×6"	11	3×3"	16
1 3/32"	9	3 1/32"	11	2 19/32"	1	計	166	12×6½"	1	4×4"	21
1 1/2"	8	1 3/32"	3	2 7/8"	1	計	606	14×6"	27	計	67
1 5/16"	16	1 1/8"	2	3"	94	不等邊山形鋼		15×5"	31	(造船材料)	
1 3/4"	84	2 3/8"	43	3 1/4"	1	2½"×2"	10	15×5½"	12	6"×"	2
1 5/8"	15	2 5/8"	89	3 1/2"	48	3½"×2½"	29	15×6"	11	計	69
1 3/8"	17	2 3/4"	5	3 3/8"	26	3½"×3"	19	15×7"	6	パイピングシート	
1 1/2"	42	3"	1	3 3/4"	8	4×3"	85	15×11¼"	25	計	4,096
1 5/8"	7	4 1/4"	1	4"	52	4×3½"	21	15 90 × 6 785	4		
1 3/4"	25	5"	1	4 5/16"	2	5×3"	56	1788 × 11 73	4	計	8,400
1 7/8"	11	5 1/2"	1	4 1/2"	8	5×3½"	20	18×6"	51	條鋼合計	13,976
2"	44	15mm	6	5"	80	6×3"	30	18×7"	129		
2 1/8"	5	16	6	5 1/2"	56	6×3½"	19	18×8 75	2		
2 1/4"	31	18	88	6"	1	6×4"	125	20×12"	6		
2 1/2"	55	21.5	87	10mm	1	mm mm		22×9 1/4"	4		
3 3/4"	57	22	10	15mm	1	40×20	3	24×7"	91		
3"	43	32	1	18	1	100×90	92	24×7½"	132		
3 1/8"	5	計	483	21	1	計	509	24×9 3/4"	2		
3 1/4"	53	計	3,477	26	1	(造船材料)		24×12 1/4"	22		
3 1/2"	53	角		30	5	6"×3"	5	25 88 × 13 73	9		
3 3/4"	28	鋼		31	6	6"×3½"	7	26×13 43	40		
4"	52	1/4"	33	35	3	11×3½"	7	28 1/3 × 10 03	32		
4 3/16"	5	3/16"	4	40	1	計	557	30×15"	3J9		
4 1/4"	43	5/8"	17	46	1	(造船材料)		33×15 3/4"	7		
4 1/2"	72	7/16"	5	95	2	6"×3"	5	<b>鋼板ノ部</b>			
4 3/4"	6	1/2"	21	計	1,672	6"×3½"	9	鋼板(0.7mm超)			
5"	78	5/8"	13	半	圓	6"×3½"	7	1/16"	300		
5 1/4"	15	3/4"	11	計	1	11×3½"	7	3/32"	109		
5 1/2"	44	7/8"	5	六角	鋼	計	48	1/8"	504		
6"	32	1"	20	計	73	球山形鋼		1/16"	374		
6 1/4"	5	1 1/8"	6	八角	鋼	(造船材料)		1/4"	380		
6 1/2"	20	1 1/4"	31	計	39	5"×3"	1	5/16"	10		
7"	37	1 1/2"	26	其他ノ棒鋼		6×3"	14	3/8"	208		
7 1/2"	5	1 3/4"	8	計	53	6×3½"	6	7/16"	1		
8"	49	2"	14	(造船材料)		6 1/2 × 3 1/2"	16	1/2"	884		
9"	5	2 1/2"	10	5	5	8×3½"	80	9/16"	18		
10"	22	3"	9	計	58	8×3"	3	5/8"	85		
3mm	10	3 1/2"	11	棒鋼合計	5,576	9×3½"	42	3/4"	63		
4"	10	4"	8			10×3½"	20	5/8"	2		
5"	13	4 1/2"	1			計	1,657	溝形鋼			
6"	10	5"	1			6"×3"	15	3/4"×3/8"	5		
7"	9	5 1/2"	1			計	557	3½"×2"	20		
7.5"	50	6"	1			球山形鋼		4×1 58	20		
8"	1	計	256			(造船材料)		5×1 75	175		



輸入鋼材品種寸法別數量表

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
12	2	28	6	20	15	<b>其他鋼材ノ部</b>	
12½	3	30	1,143	18	9	<b>特 殊 鋼</b>	
13	2	31	25	16	15	丸 鋼	200
13½	1	<b>計 2,942</b>		12	11	角 鋼	25
14	3	電 氣 鐵 板		9	1	平 鋼	33
15	72	0.014"	510	6k	2	板	26
16	15	0.017	366	<b>計 82</b>		其 他	5
17	1	0.025	21	<b>軌附合計 2,846</b>		<b>計 289</b>	
18	54	0.50mm	99	<b>線 材 ノ 部</b>		<b>外 輪</b>	
19	1	1.00	11	線 材		及 軸	
22	6	<b>計 1,007</b>		¾	1	22	
18mm	20	縞 鋼 板		5mm	253	58	
2	30	¾"	145	10	1	其他合計 369	
3	124	¼"	157	B.W.G.No.		<b>鋼材總計 41,851</b>	
4.5	78	⅝"	29	6	253	シ ー ト	
5.5	29	⅞"	48	5	3,815	バ	
6	115	1"	62	3	72	ブ	
12	12	⅝"	10	2	65	レ	
16	5	⅞"	11	1	66	ツ	
19	5	1¼"	4	0	11	ケ	
<b>計 3,791</b>		6mm	28	00	102	ス	
(造船材料)		<b>計 494</b>		<b>鋼管ノ部</b>		チ	
0.32"	2	鉸 力 板		鋼 管		ール	
0.34	5	100lbs	1,874	¼"	1	2,597	
0.36	168	170	632	⅜"	19	26	
0.38	17	50Sheets	33	½"	267	1,221	
0.40	133	60	1	¾"	250	478	
0.42	33	70	9	1"	762	57	
0.44	206	80	2	1¼"	176		
0.46	178	100	33	1½"	177		
0.48	209	mixed	54	2"	240		
0.50	7	Oil size	3,091	2½"	74		
0.52	2	其 他	2,123	3"	79		
0.56	136	<b>計 7,853</b>		3½"	12		
0.62	2	<b>鋼板合計 17,511</b>		4"	62		
0.625	22	<b>軌條及附屬品ノ部</b>		5	59		
0.64	4	軌		6	172		
0.70	6	條		6⅝"	11		
0.72	1	82lbs		8"	32		
0.74	1	30		8⅝"	17		
0.76	5	25		9"	6		
0.78	6	20		10	30		
0.80	12	18		12	19		
0.82	215	16		Pipe fitting	13		
0.85	3	12		Pipe Joint	15		
0.92	3	9		<b>計 2,493</b>			
0.98	6	6k		(造船材料)			
1.04	5	重量不明		¾"	1		
1.10	6	<b>計 2,764</b>		1"	1		
1.16	31	繼 目 板		1½"	5		
<b>計 1,474</b>		82lbs用		2"	10		
<b>計 5,215</b>		30		<b>計 17</b>			
鋼板(0.7mm以下)		5		<b>鋼管合計 2,510</b>			
8Sheets	2						
9	2						
10	8						
12	24						
13	1,729						
B.W.G.No.							
26	3						

昭和5年2月中國別輸入數量表(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 累 計
條及竿鐵 (丸、角及平形にして徑邊又は幅15mmを 超えざるもの)	52	439	608	52	56		37				68	1,312	3,003
〃 (丸、角、平のもの其他)	697	62	2,032	791	89		20				91	3,782	7,667
〃 (テ-形及アングル形)	449	455	2,560	317		54		66				3,781	7,251
〃 (其 他)	11	180	4,444	639				971				5,394	10,146
レ - ル			506					111				1,477	3,123
フィツシュ・プレート			10									121	383
ワイヤ-ロツド (巻きたるものにして徑 5mmを越えざるもの)			104					1,398				104	104
〃 (巻きたるもの其他)			4,311	600	110			377				6,725	13,841
鐵板 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mmを越えざる鍍素鋼板)	334		98					1,175				863	1,818
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mmを越えざるもの其他)	1,275		391					406		306		2,841	6,144
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3mmを越えざるもの)	226	20	453	329		54		140				1,506	3,614
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	1,070		1,228	382		30	42	4,642				3,048	6,714
〃 (錫鍍したる)(葉鐵及葉鋼)	1,854		3			33	2	179			193	6,678	13,922
〃 (亞鉛鍍したるもの)	10		6					133			179	257	496
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	16		29	55				81			62	263	383
鐵 線	28	1	28	18			8				30	164	358
リ-ド・ワイヤ-	133	1	296	47			28	15				1	1
鐵 リ ボ ン	395	1	1,836	590		62		52				520	1,011
帶 (籬) 鐵	12	169										3,104	7,706
パ ラ ゴ ン ・ ワ イ ヤ -	62		8					7				21	46
線 索												77	181
撚 合 線													
バーブド・ツイスト・ワイヤ-													
鐵 筒 及 管	79	98	1,873	280	2		19	1,949			1	4,301	8,880
特 殊 鋼(稅表一)	34		36		49		22	6	5		27	179	377
〃 (稅表二)	3				1		1				3	8	72
鐵道車輛用車輪及車軸													
鐵道車輛用タイヤ													1
鐵道車輛用スプリング													
<b>合 計</b>	<b>6,749</b>	<b>1,426</b>	<b>20,860</b>	<b>4,100</b>	<b>307</b>	<b>233</b>	<b>179</b>	<b>11,708</b>	<b>5</b>		<b>960</b>	<b>46,527</b>	<b>97,242</b>
フエロ・マンガニ-ス	203											203	352
フエロシリコン及 シリコスビーゲルアイゼン													
其他の不可鍛成鐵合金			3		257		9	32				12	87
シ-トバー(ティンバーを含む)		2,868	2,172	450				40		1,003		6,332	11,373
インゴツト、ブル-ム、ピレット及 スラツプ	50		781				5					1,326	2,064
ケツグスチ-ル及バンブスチ-ル							31					31	70
其他の塊及錠鐵													
<b>合 計</b>	<b>253</b>	<b>2,868</b>	<b>2,956</b>	<b>450</b>	<b>257</b>		<b>45</b>	<b>72</b>			<b>1,003</b>	<b>7,904</b>	<b>13,946</b>
銑 鐵	508		1,197					58	18,075	19,395		39,538	69,576
屑 及 故 鐵	5,357	1,044		1,535		693	305	26,039	560	6,371	5,072	46,671	98,070